

RFID World Watcher Monthly

February 2012

目次

特集 – NFC & Smart WORLD 2012.....	3
RFID 関連ニュース.....	6
プロダクト.....	6
ソリューション.....	6
規制・標準化.....	8

特集 – NFC & Smart WORLD 2012

3月6日から9日まで東京ビッグサイトで開催中の NFC & Smart WORLD 2012 に出かけてきた。期末の忙しい時期だと思うのだが会場はかなりの混雑。会場はリテールテック JAPAN や Security Show との共催で、NFC & Smart WORLD 2012 エリア自体はかなり狭かったのだが、実際にはリテールにせよセキュリティにせよ RFID や IC カードを使った事例が多数。しかもタブレットやスマートフォンと組み合わせた事例が多く、このジャンルへの関心の強さが伺われた。一方で意外だったのが NFC 機能が標準搭載される Windows 8 を使った事例をほとんど見かけなかったこと。Consumer Preview 版が出たので、もうちょっと何かあってもいいかと思っていたのだが。

【セミナー】

今回見ることができたのはホール内開催の 30 分セミナー2 本。ある意味好対照な内容で非常に興味深かった。



【おサイフケータイの現状と今後／フェリカネットワークス】

おサイフケータイの現状を手際よく説明したもの。現在携帯の NFC 機能を決済用に利用した事例は NFC Times によると世界で 181 個あるが、日本以外の国ではすべてトライアル止まりで実用化されたものは一つも無い。このため、海外勢は日本でおサイフケータイが成功した理由を学びたいと本気で考えるようになったという手ごたえを感じていると。ただ、

キャリアが主導しての標準化がやりやすかった日本と違い、欧米ではキャリアも端末事業者も多く、それらを束ねていくのは大変だと。個人的にはこの壁を破る可能性が一番あるのは iPhone だと考えているけど、さてどうなることか。

その他 NFC とフェリカとの関係だとか今後のロードマップだとかは既出のものが多かったが現状をよく整理できていたと思う。2013 年ごりに docomo からフェリカと NFC の両方のアプリをサポートする「フェリカプラス」対応機が出るというのは今回知ったので楽しみ。

【GS1 モバイル/流通システム開発センター】

NFC とは直接関係が無いリテール系の発表。GS1 でリテール B2C 向けのソリューション標準化を行っているというお話。モバイルサイトを使ったトレーサビリティや表品情報提供、クーポンの発行などは日本は個別企業が対応しているが、欧米では多対多の企業間で利用するために標準化をコード・自動認識技術・メッセージ・業務プロセスについて行っているとのこと。作業メンバーには Wal-Mart やメトロ、クラフトフーズ、ネスレ、ジョンソン&ジョンソンなどどこかの業界で馴染みのある名前が並んでいるのだが、GS1 での活動だしある意味当然か。標準化作業では当初日本企業のノウハウが期待されていたが積極的な参加が見られなかったので見切りを付けられたと残念そうだったが、個人的にはこの面子の中に日本のスーパーなり食品メーカーなりが入っても全然メリットが無いのでやむをえないと思う。中国や ASEAN の企業が囁んでいるなら別だけどね。

【展示】

【アパレル小売店向けソリューション(東芝テック)】

先日 ITS international に導入されたソリューションをデモ用に展示していた。棚卸部分はタブレットを使うなどその後の技術の進歩を踏まえて改善したが、POS 部分はほぼ同じものとのこと。かなり洗練されたアプリケーションだなという印象。

【NFC リーダー搭載業務用 Android タブレット(パナソニック)】

パナソニックシステムネットワークスが 7 インチと 10.1 インチの業務用タブレットを出展していた(関連記事: パナソニック、Android 3.2 搭載の企業向け堅牢タブレット「JT-H580VT」「JT-H581VT」(ITmedia))。いずれもいかにも業務用という無骨な外観がいい感じで、ToughBook でこの分野の経験を積んだパナソニックらしい。リーダーは NFCIP-2(ISO-21841) 準拠なので Felica のほかに Type A・Type B を読めるが通常の HF タグを読むことはできない。お値段は 7 インチモデルで 5 万~6 万円、ロットがまとまれば大幅値引き可能ということ。

〔IPCS bluetooth RTLS システム (9solutions)〕

Bluetooth Low Energy(Bluetooth 4.0)を利用した RTLS システム。タグの読み取り距離は 20～30m で、ボタン電池で電池寿命は 5 年間。リーダーは各部屋に配置しメッシュネットワークで相互通信するのでコンセントさえあればネットワーク配線不要。位置測定は三点測量ではなくリーダーとの近接を利用するので「どの部屋に存在するか」ぐらいの精度になる。単純に RTLS として見れば導入工数が低く価格も手ごろなシステムということになるが、このソリューションの意義は何とんでもなく bluetooth を使っていることだと思ふ。NFC の例でも分かるように、携帯電話でタグを読めるということはものすごいビジネスチャンス。タグの検知というだけなら WiFi も条件を満たすけど、タグと携帯の間で通信をしようとなるとやっぱり bluetooth になるだろう。今後どのように進化していくか、とても楽しみ。



〔RFID/NFC Real Touch Shop〕

八重洲に1月にオープンした RFID/NFC Real Touch Shop、予想以上に反響があり、しかもその場で買って帰る人がとても多いとのこと。日本の RFID シーンにちょっと自信を持てる話。NFC は携帯との絡みで使う人はこれからどんどん増えていくだろうけど、システムを(簡単なものであっても、プライベートなものであっても)作った経験のある人が増えることはきっとビジネスの拡大に繋がるはず。

RFID 関連ニュース

プロダクト

[ハードウェア]

SencorpWhite 社は薬品・医療機器を格納するロッカーMicroVert に RFID 対応バージョンを発売した。このロッカーは 15 インチのモニターを持ち、Web ベースの在庫管理システムと連携する。在庫管理システムは売り切りとクラウドの両方の携帯で提供する。また ERP と連携させることも可能。

任天堂が今年の年末商戦向けに投入する新型据え置きゲーム機「Wii U」に NFC を搭載する。大型のタブレット型コントローラに搭載し、カードやフィギュアからのデータ読み取りのほか小額決済での利用も視野に。

[ソフトウェア・サービス]

イギリスの Excelerated Apps 社はビジネス向け SNS の LinkedIn と RFID をリンクするシステムを開発した。これは展示会で利用される RFID バッジを個別セミナーの会場で読み取り、訪問者がどのセミナーに参加したかを自動的に LinkedIn に投稿するもので、イギリスで開催された SAP のコンファレンスで最初に利用した。Facebook や Twitter では同種のシステムが存在しますが、LinkedIn 向けにはこれが最初のソリューションになる。

ソリューション

[パッシブ]

ブラジル空軍は兵站拠点での物資取り扱いの効率化のために RFID システムを導入した。空軍の物資は北米の拠点で受領したあとブラジルに送付されるが、従来は出荷に 3.5 日を要し、出荷ミスの比率は 2%だった。新たなシステムは UHF Gen2 を用いたもので、出荷時間を 3 時間に、ミスの比率を 0.005%まで引き下げることに成功した。

メディア大手の Comcast 社は RFID を用いたサーバ管理を開始した。同社は 2 千平米のデータセンタで 6 千個の IT 器材の管理を開始し、別の 2 箇所に導入中。同社は Asset Vue 社のソリューションを導入、タグは RCD Technology 社の Sentry-AST Multi Surface を利用している。

ブラジルのコーヒー農家協同組合 Copacafe は RFID を用いた倉庫管理システムを導入した。このシステムはコーヒー袋と床に Gen2 タグを貼付することで、特定のコーヒー袋の倉庫内での位置を管理できるもの。

American Apparel 社が RFID 単品管理システムを全世界の店舗に導入する。同社は長く RFID 単品管理システムを導入してきたが、このたびいよいよ全世界・全店への展開に踏み切った。導入は 2012 年末までに行なわれる予定。

鋼製折りたたみコンテナの大手 Goodpack 社は RFID を用いたコンテナ管理システムを導入した。同社のコンテナは 1m 角で、1.5 トンの貨物を搭載することが可能。同社が保有するコンテナは 260 万個で、68 ヶ国、400 箇所の倉庫で利用されている。同社はフィンランドの Vilant Systems から管理システムを購入、タグは Confidex 社の Ironside Slim をカスタマイズしたものを採用。導入費用は 800 万ドルで、今後 2 年掛けて導入予定。

トリノで行なわれているイタリア建国 150 周年記念イベントでは RFID を用いた展示が行なわれている。これは、イベント参加者に HF 帯パッシブタグを組み込んだチケットを配布し、展示品にリーダーを設置することで、展示のカスタマイズや閲覧履歴の自動作成などを可能にするもの。

アメリカのロックバンド Phish はチャリティ用の物販の管理に RFID を利用している。全米ツアー中の物販販売ではトラックからの荷物の積み降ろしの際に棚卸を行なう必要があり、RFID の利用でこの作業を大幅に簡略化できる。Truecount 社の TC Mobile Merch solution を導入し、商品には Gen2 タグを、読み取りには Motorola MC3190-Z ハンドヘルドリーダーを利用。

企業向けのアート販売を行なう Corporate Art Force 社は RFID を用いた作品の管理を行なっている。同社は作品の全てに Gen2 タグを貼付して在庫管理を行なうと共に、企業が保有する作品の在庫管理やクリーニング履歴の管理を行なう SmartArt プログラムを提供する。

[アクティブ・RTLS]

ニューヨークのガン病院 Memorial Sloan-Kettering Cancer Center では RFID を利用したアセット管理システムを導入した。同院は VoIP 対応の WiFi ネットワークを既に構築していたため、Aeroscout 社の WiFi アクティブタグを導入することにしてパイロットを開始し、手術用器材のアセット管理を行なうようにしたもの。今後は整備したインフラを共有し患者やス

タッグの所在管理も行なっていく。

規制・標準化

Impinj社はタグにシリアル番号を付与するための手法、Monza Self-Serializationを公開した。これは同社のMonza 5チップとリーダー用のSource Tagging Platformを採用している場合に利用可能なもので、タグのTIDの一部を元にSGTINを生成することができる。会社によると、複数のサプライヤーにまたがり、製造中にサプライヤーを変更するような製造プロセスでのSGTIN管理は複雑であり、Monza Self-Serializationによりこの作業をシンプルにすることが可能。

アクセンチュアがVICSの依頼を受けて行なった調査によると、アメリカの大手アパレル企業の過半数が既にRFIDの導入、パイロットを実施しており、残りの企業も他の企業の実績を見つつRFIDの利用を積極的に検討している。現状の勢いが続きタグ価格の低下が継続すれば、3年から5年でほとんどの大手アパレル企業がRFIDを導入することになると同社は予想している。

アバディーン大学の調査によると、RFIDの導入が進んでいるヘルスケア分野においてさえ、RFIDシステムと既存システムを接続する標準的なインタフェースやノウハウが存在しないため、個別の作りこみが必要となっている。SAPなどのERPの初期においては、既存のハードウェアやデータベース製品との接続性をベンダが保障することが普及の鍵となったため、RFID業界はこの分野に積極的に取り組むべしとのこと。また、システムの使いにくさが、RFID技術全体への悪影響につながるリスクも考慮すべきであると。